

れいわ ねんど だい かい よこはまししょうがいしゃさくすいしんきょうぎかいぎろく 令和2年度 第2回 横浜市障害者施策推進協議会会議録	
にちじ 日時	れいわ ねん がつ にち かようび じ ぶん じ ぶん 令和2年12月8日(火曜日) 14時00分～16時00分
かいさいばしょ 開催場所	よこはま 横浜ワールドポーターズイベントホールA
しゅつ せき しゃ 出席者 (ごじゅうおんじゅん) (五十音順)	いいやまいいん い で いいん いながきいいん おおほしいいん か が や いいん かないいいん しぶやいいん 飯山委員、井出委員、稲垣委員、大橋委員、加賀谷委員、金井委員、渋谷委員、 しみずいいん すずきいいん すやまいいん なかせいいん ながたいいん ならざきいいん にのみやいいん ひがしね 清水委員、鈴木委員、須山委員、中瀬委員、永田委員、奈良崎委員、二宮委員、東根 いいん ひろさわいいん もりいん わだいいん わたなべいいん 委員、広沢委員、森委員、和田委員、渡部委員
けつ せき しゃ 欠席者	あかばねいいん いのうえいいん おおともいいん たかはしいいん にしまいいん やまぐちいいん 赤羽委員、井上委員、大友委員、高橋委員、西山委員、山口委員
かいさいけいたい 開催形態	こうかい ぼうちようしゃ めい 公開(傍聴者 0名)
ぎ だい 議題	1 ぎだい 議題 (1) かいちよう せんしゅつ 会長の選出について (2) だい き よこはまししょうがいしゃ しんちよくほうこく 第3期横浜市障害者プランの進捗報告について (3) だい き よこはまししょうがいしゃ そあん かか 第4期横浜市障害者プラン素案に係るパブリックコメントの じっしけつかおよ げんあん さくてい 実施結果及び原案の策定について 2 ほうこくじこう 報告事項 しょうがいしゃてちよう か 障害者手帳のカード化について
ぎ じ 議 事	ぎだい かいちよう せんしゅつ 議題1/会長の選出について じむきょく/それでは、ぎだい さきだ ほんきょうぎかい かいちよう せんしゅつ ほん 事務局/それでは、議題に先立ちまして、本協議会の会長を選出いたします。本 ぎょうぎかい かいちよう よこはまししょうがいしゃさくすいしんきょうぎかいじょうれい だい じょう 協議会の会長は、「横浜市障害者施策推進協議会条例」第4条により、委員の みなさま ごせん さだ 皆様の互選により決めると定められております。 どなたか、ご意見もしくは推薦者はいらっしゃいますか。 すやまいいん はまなんちよう すやま わたなべいいん すいせん おも 須山委員/浜難聴の須山です。渡部委員を推薦したいと思う。 じむきょく/ただ今、すやまいいん わたなべいいん すいせん みなさま はくしゅ 事務局/ただ今、須山委員から渡部委員をご推薦いただきました。皆様から拍手も あ 上がりましたので渡部委員に今回の会長をお願いしたいです。渡部委員、よろ しくお願いいたします。 わたなべいいん ねが 渡部委員/よろしくお願いいたします。 じむきょく つぎ しょくむだいりしゃ せんしゅつ しょくむだいりしゃ 事務局/次に職務代理者を選出させていただきます。職務代理者につきましては、 よこはまししょうがいしゃさくすいしんきょうぎかいじょうれい だい じょう こう あらかじ かいちよう しめい 「横浜市障害者施策推進協議会条例」第4条3項により 予め会長が指名す

るものとなっておりますが、<sup>わたなべかいちょう</sup>渡部会長、いかがでしょうか。

<sup>わたなべかいちょう</sup>渡部会長/<sup>もりいじん</sup>森委員にお願いしたいと思ひます。

<sup>じむきょく</sup>事務局/<sup>もりいじん</sup>森委員、よろしいでしょうか。

<sup>もりいじん</sup>森委員/はい。

<sup>じむきょく</sup>事務局/それでは、<sup>わたなべいじん</sup>渡部委員・<sup>もりいじん</sup>森委員、よろしくお願ひいたします。

ここで、<sup>かいぎ</sup>会議の途中ですが、<sup>たいへんしつれい</sup>大変失礼ではございますが、<sup>たなかけんこうふくしきょくちよう</sup>田中健康福祉局長は  
<sup>たいせき</sup>退席させていただきます。

それでは、ここからは、<sup>わたなべかいちょう</sup>渡部会長にご挨拶をお願ひし、<sup>ぎしんこう</sup>議事進行をお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

<sup>わたなべかいちょう</sup>渡部会長/それでは、<sup>かいちょう</sup>会長に<sup>すいせん</sup>推薦いただきました<sup>わたなべ</sup>渡部です。<sup>ひりき</sup>非力ですが<sup>どりょく</sup>努力して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

<sup>ぎだい</sup>議題2/<sup>だい</sup>第3期<sup>しんちよくほうこく</sup>横浜市障害者プランの進捗報告について

<sup>わたなべかいちょう</sup>渡部会長/それでは、<sup>じかん</sup>時間も押しておりますので、<sup>ぎだい</sup>議題2第3期<sup>しんちよくほうこく</sup>横浜市障害者プランの進捗報告についてです。<sup>じむきょく</sup>事務局から<sup>せつめい</sup>説明をお願ひいたします。

<sup>じむきょく</sup>事務局より<sup>せつめい</sup>説明

- <sup>しりよう</sup>資料1-1 <sup>だい</sup>第3期<sup>しんちよくほうこく</sup>障害者プラン
- <sup>しりよう</sup>資料1-2 <sup>だい</sup>第3期<sup>しんちよくほうこく</sup>障害者プラン<sup>れいわ</sup>令和2年度<sup>ねんどとりくみ</sup>取組<sup>いちらん</sup>(一覧)
- <sup>しりよう</sup>資料1-3 <sup>だい</sup>第3期<sup>しんちよくほうこく</sup>障害者プラン<sup>れいわ</sup>令和2年度<sup>ねんどとりくみ</sup>取組<sup>がいようばん</sup>(概要版)

<sup>わたなべかいちょう</sup>渡部会長/ただいまの<sup>しんちよくじようきよう</sup>進捗状況のご報告についてご意見、ご質問はありますでしょうか。

<sup>いいやまいじん</sup>飯山委員/意見ではなく、<sup>せつめい</sup>説明を聞いていて81ページ、<sup>れいわ</sup>令和2年度<sup>ねんどもくひよう</sup>目標に向けた<sup>れいわ</sup>令和2年度<sup>ねんど</sup>取組の<sup>ふとわく</sup>太枠の中、「<sup>しょうがいふくし</sup>障害福祉事務所」となっておりますが「<sup>しょうがいふくし</sup>障害福祉事業所」で、ちょっとしたミスプリントではないでしょうか。

<sup>じむきょく</sup>事務局/その通りです。<sup>と</sup>申し訳<sup>もう</sup>ございません。

わたなべかいちょう しゅうせい ねが  
渡部会長/修正をお願いいたします。それでは、この報告に関する議論はここで  
しゅうりょう  
終了させていただき、引き続き本日の中心の議題であります「第4期横浜市  
しょうがいしゃ  
障害者プラン素案に係るパブリックコメントの実施結果及び原案の策定について」  
の議案に進めさせていただきます。せつめいごきゅうけい  
説明後休憩を取り、その後質疑として  
すす  
進めていきたいと思ひます。

ぎだい だい きよこはまししょうがいしゃ  
議題3/第4期横浜市障害者プラン素案に係るパブリックコメントの  
じっしけつかおよ げんあん さくてい  
実施結果及び原案の策定について

わたなべかいちょう じむきょく  
渡部会長/事務局からご説明をお願いいたします。

じむきょく せつめい  
(事務局より説明)

- しりょう  
資料2-1 パブリックコメント実施結果
- しりょう  
資料2-2 パブリックコメント意見一覧
- しりょう げんあん あん はんえい しゅうせいかしよ  
資料2-3 原案(案)への反映・修正箇所
- しりょう げんあん あん はんえい いけんいちらん  
資料2-4 原案(案)に反映するパブリックコメント意見一覧
- しりょう だい きよこはまししょうがいしゃ げんあん あん  
資料2-5 第4期横浜市障害者プラン原案(案)

せつめい とちゅう ぶんきゅうけい  
(説明の途中で10分休憩)

わたなべかいちょう  
渡部会長/それでは、ただいまのご報告に関しまして、どの点からでも結構です  
のでお気づきの点をご発言ください。

しがやいいん きほんもくひょう しょうがい ひと じん  
渋谷委員/基本目標で、「障害のある人となない人」とすると、いつもわからなく  
はないのですが、現実にはじつ しょうがい りゆう ぐべつ げんじつみ  
に、現実に障害を理由にするだけで区別することは、現実味がない  
です。だとしたら、それをしょうがいしゃけいかく ひと にんしき あいまい  
障害者計画と、わからないとその人の認識を曖昧にし  
てしまう気がします。

わたなべかいちょう きほんもくひょう ほか いけん  
渡部会長/基本目標について他にご意見はありますか。

ながたいいん しゅうせい きほんもくひょう だれ ぶぶん よ おも  
永田委員/修正した基本目標の「誰もが」という部分が良いと思ひます。

おおはしいん きほんもくひょう てん ひとこともう あ しょうがい ひと ひと  
大橋委員/基本目標の点について一言申し上げます。「障害のある人」と「ない人」  
という言葉が対峙関係にあるという理屈はともかくとして、「障害」を外すとい

うことは絶対に反対です。事務局の一部でも障害福祉のプランの中で障害という言葉は抜くことは問題ではないかという議論が事務局内部でもあったように書いてありますが、これは、その後にも出ています。恋愛、結婚、子育てに差別があるということも記されているわけなので、要するに障害者の現実問題の実態としては、差別解消法があっても全庁的に十分に理解されているとは思えませんし、市民レベルでは、まだまだ障害者の認知度が十分に理解されていない現実があるので、障害という言葉をとってしまったら、福祉プランをまとめるにあたり視点がずれてしまうように思います。この「障害」の言葉を取るのには、一部の行政マンや学識経験者の、福祉施策が進んで障害というものを敢えて出さなくても良い社会になったという自画自讃というか、もっと言うなら一部の行政マンの悪意すら感じます。というのは、言葉だけで障害者問題を隠蔽化していく感じがします。これは絶対に出さないとまずいと思います。障害者の権利条約も批准しているの、横浜市政策として、まだ、障害者問題から「障害」という文言を除く段階ではないと思います。だから、絶対に残さないとまずいです。何のための障害者プランなのか、問われると思います、絶対に残してください。それから、後でいう3点の問題を、今日、ご回答いただかなくてもけっこうなので、国会でいう文書質問ではないのですが、別の機会に説明していただければ結構です。第3章の代読・代筆のところで、最近では、名古屋市もやるようになったようですが、横浜市でも是非やっていただきたく、各論部分についてご説明していただきたい。

また、読書バリアフリー法についても自治体としてのプランを出さなくてはいけないので、各論的などころをお尋ねしたい。

それから、「雇用施策と福祉施策の連携による重度障害者等の就労支援特別事業」に関してどのようなプランを障害者プランの中で位置づけをして計画を立てているか、その点について後日、私共、視覚障害者団体にご説明願いたい。

渡部会長/後半の3点については、今日時間があればご回答いただきたい。そうでなければ個別にご説明いただければと思います。

須山委員/修正した基本目標について、私もどちらかという障害のある人への偏見は未だに理解されていないし十分に進んでいないと思います。障害者自身の声も、やはり日常生活の困りごとで障害の種類別によっては、5割前後の方は周囲の人の理解が足りないと言っている現実があります。「誰もが」の言葉は

理想であり、今まだその段階では無いので「障害のある人もない人も」と「障害」という言葉を残した方が良いと思います。

二宮委員/横浜市歯科医師会の二宮でございます。基本目標に関して、「誰もが」は、素晴らしい言葉だと思いますが、個人としても委員の皆様からのご意見の様に「誰もが」に違和感を感じました。障害者プランは、障害者のお役に立ててもらおうという計画なので、入れたいと思います。

また、気づいた点は、40頁、下から7葉目、「障害のある人が、恋愛、結婚、出産、子育て、介護などを考えたとき」という言葉があるが、細かいところですが、ここで文章を広げた点について、障害をお持ちの方にとっては「就学」や「就労」も大事なイベントであるが、どこまで記載してよいのかとも思います。例えば「恋愛」、「結婚」を書くのもひとつ、或いは、もっと大きなイベントとして「結婚」「子育て」「介護」をもう少しまとめても良いのではと思いました。

渡部会長/後半のご説明は、今の趣旨を踏まえて、そこは検討するという事でよろしいでしょうか。

二宮委員/「恋愛」を入れるのであれば、「就学」と「就業」を入れても良いのではと考えました。省くのであれば「等」でまとめてしまってもよいかと思いました。

鈴木委員/横浜ピアスタッフ協会の鈴木です。個人的には言葉は本質ではなく、敢えて言えば「障害を感じている方々」が良いのではないかと。当事者として仲間を見ていて感じるのは、心の問題、様々な悩みがある中、社会的な地位・対価が獲得できていないというコンプレックスが一番大きく当事者の心に響いていると思います。生活保護も絡んでくると思います。作業所の工賃も最低賃金に届いていなく、最低賃金レベルが上限だったりする立場だという、自分が如何に頑張っても社会からは最低の評価なのだということを自分事として捉えていただいて、皆さんと一緒に考えていければと思っています。

ひろさわ委員/横浜北部就労支援センターのひろさわです。基本目標の修正の件で、意見を述べさせていただきます。「誰もが」とありますが、私は、「誰もが」の前に「私達は、」を入れて「私達は、障害のある人もない人も」とするのが良いと思います。

「私達は」の意味は、障害のある人もない人も全て同じコミュニティーに住んでいるという意味の、私達という意味でもあります。今、世界は分断の方向に進んでいるわけですが、世界が必要としているのは、分断でも差別でもなく基本目標に書かれている共生社会という共同体の感覚を持つことが非常に重要だと思えます。そのような思いを込めて、先頭に「私達は」の言葉をいれ、その後に「障害のある人もない人も」と入れた方が良いと思います。追加資料で、欠席委員の高橋委員も同じようなことが書かれていましたので、私も発言させていただきました。

森委員/全体の中の流れだが、前に令和2年度の各取組の3頁の下のところに、新型コロナのことが書かれている。「当初予定通りには実施できず調整・修正をしながら進めている取組があります」とあるが、今年度、結構できなかったことがいっぱいあったはず。それを受けて第4期となるが、令和2年度の各取組についても「第4期横浜市障害者プランの取組の中で必要な対応を行っていきます」と書いてあるので、ここをなんとか架け橋を作ってもらえないでしょうか。そうでないとブツブツと切れてしまって、新型コロナは経験したことがないことが起きているので、ここを架け橋してもらおうような文言を考えていただきたい。令和2年度の取組で実施できなかったり、調整・修正したのはすごい数のはず。本当は、予算でいってもきっと使わなかったお金がいっぱいあるような影響が及んでいるだろうと思うので、架け橋するような内容を入れないといけないと思えます。

渡部会長/まず、基本目標について、一旦ここでまとめをさせていただきたいが、先程のご意見を踏まえて、明確に記載する・省かないというのが、委員のご意見と考えております。すなわち、「障害のある人もない人も」は記載する。永田委員のご発言、あるいは欠席の高橋委員のご発言でも「障害のある人もない人も」「誰もが」を記載するという方向で進めていく。

「私達は」の記載については、検討するとして、まずは、どうしても外せないものについては、「障害のある人もない人も」「誰もが」というのを基本目標の中に必ず入れる方向で進めることで委員の皆様よろしいでしょうか。

(一同 意義なし)

いったん、このことにつきましては、<sup>かなら</sup>必ず<sup>めいかく</sup>明確に<sup>きさい</sup>記載し、<sup>はず</sup>外さないとの<sup>こと</sup>事で<sup>すす</sup>進めて<sup>まい</sup>参りたいと思います。事務局の方もよろしく<sup>ねが</sup>お願いいたします。

それでは先ほどあった大橋委員のご質問、<sup>おおはしいいん</sup>架け橋の<sup>しつもん</sup>話に加えて、<sup>か</sup>何か<sup>はなし</sup>委員の皆様<sup>な</sup>方いかがでしょうか。

奈良崎委員/少し<sup>ならさきいいん</sup>気になったところで<sup>すこ</sup>分かりにくいので、<sup>わ</sup>できたら<sup>い</sup>入れてもらいたいのですが、<sup>せいねんこうげんにん</sup>成年後見人と<sup>こうげんてきしえん</sup>後見的支援が<sup>すこ</sup>少し<sup>くたいてき</sup>わかりにくいので<sup>い</sup>具体的に<sup>い</sup>説明を入れてもらえると<sup>わたしたち</sup>私達、<sup>ちてきしょうがい</sup>知的障害にも<sup>いけん</sup>わかりやすいという<sup>いけん</sup>意見です。

渡部会長/記載する時に<sup>わたなべかいちょう</sup>意味が<sup>きさい</sup>しっかりと<sup>とき</sup>わかるように<sup>い</sup>という意味でよろしいでしょうか。

奈良崎委員/説明を入れて<sup>ならさきいいん</sup>いただ<sup>せつめい</sup>けるだけで<sup>い</sup>良いです。

渡部会長/大橋委員のご質問については、<sup>わたなべかいちょう</sup>事務局説明が<sup>おおはしいいん</sup>長くなるか<sup>しつもん</sup>と思うので、<sup>しむきょくせつめい</sup>可能な<sup>なが</sup>ところで<sup>おも</sup>ご説明<sup>か</sup>いただきたい。<sup>もりいいん</sup>森委員の<sup>か</sup>架け橋<sup>はし</sup>についても<sup>い</sup>いかがでしょうか。

事務局/事務局から<sup>しむきょく</sup>答える<sup>しむきょく</sup>前に、<sup>こた</sup>もう一つ<sup>まえ</sup>二宮委員からも<sup>ひと</sup>ご発言<sup>にのみやいいん</sup>があった<sup>はつげん</sup>恋愛、<sup>れんあい</sup>結婚の<sup>けっこん</sup>「暮らし」の<sup>く</sup>ところで<sup>ほか</sup>他の<sup>いいん</sup>委員からも<sup>いけん</sup>意見を<sup>いけん</sup>いただきたい。  
それから「基本目標に<sup>きほんもくひょう</sup>主語を入れた<sup>しゅご</sup>方が<sup>い</sup>良い」というのは、<sup>ほ</sup>委員の<sup>いけん</sup>皆さんの<sup>いけん</sup>ご意見<sup>いけん</sup>でしょうか。<sup>ひろさわいいん</sup>広沢委員からも<sup>いけん</sup>ご意見<sup>ほんじつ</sup>がありましたが、<sup>けっせき</sup>本日<sup>たかはしいいん</sup>ご欠席の<sup>いけん</sup>高橋委員<sup>いけん</sup>からも<sup>わたしたち</sup>「私達は、」という<sup>しゅご</sup>主語<sup>はい</sup>が入った<sup>はつげん</sup>ご発言<sup>たいかいせんげん</sup>、<sup>いけん</sup>大会宣言<sup>いけん</sup>では<sup>いけん</sup>あります<sup>いけん</sup>けれども、<sup>よ</sup>読みあげてきたと<sup>いけん</sup>ありますので。

渡部会長/基本目標に関連して、<sup>わたなべかいちょう</sup>「私達は」<sup>わたしたち</sup>を加える<sup>くわ</sup>かどうかについて、<sup>いけん</sup>委員の<sup>いけん</sup>皆様のお<sup>いけん</sup>考<sup>いけん</sup>えが<sup>いけん</sup>あれば<sup>いけん</sup>ご発言<sup>いけん</sup>ください。

渋谷委員/「私達」を入れた場合、<sup>しばやいいん</sup>誰を<sup>わたしたち</sup>指す<sup>い</sup>のでしょうか。<sup>ぼあい</sup>行政<sup>だれ</sup>なのか<sup>さ</sup>市民<sup>ぎょうせい</sup>なのか、<sup>しみん</sup>ある<sup>いけん</sup>いは、<sup>よこはまし</sup>横浜市<sup>す</sup>に住<sup>いけん</sup>でいる<sup>いけん</sup>人々<sup>いけん</sup>全体<sup>いけん</sup>を<sup>いけん</sup>指す<sup>いけん</sup>のか。どう<sup>いけん</sup>でしょう。

渡部会長/そこは、<sup>わたなべかいちょう</sup>私も<sup>わたし</sup>渋谷委員<sup>しばやいいん</sup>と同じ<sup>おな</sup>様に<sup>よう</sup>思<sup>おも</sup>っています。<sup>いけん</sup>他の<sup>いけん</sup>委員<sup>いけん</sup>の方<sup>いけん</sup>で<sup>いけん</sup>ご

発言があればあわせてお願いしたいが、いかがでしょう。

二宮委員/これは捉え方の問題で、「私達は」を書くことにより横浜市民の方が自分達の事だと思ってもらえるのなら入れた方が良く、行政の方の事だと思われるのなら無い方が良く、その後の文章次第だと思います。

渡部会長/読み手のとらえ方によって解釈が変わるのならば、できれば避けた方が良くと個人的に思っています。やはりメッセージとして記述していくことが基本的な考え方だと思っています。他にありますか。

飯山委員/白根学園の飯山です。今の「私達は」については、これは横浜市が作るプランなので、「私達は」と書くと、多くの読み手は「横浜市は」ととらえると思います。私も一人ではありますが、団体が「私達はこうします」という時は、当事者たちに宣言するものです。「私達は」を入れてこの目標だけが出てくれば、市民とも思えますが、プランの中にあると横浜市のことだと思えます。

奈良崎委員/「私達」という言葉は、知的障害の言葉では、「私達は～」とお願いする時によく言っています。そして混乱しています。結構、文とかにすると、「私達は」を入れると私を指すのかと、逆に入れると混乱すると思います。

渡部会長/先程からの流れでいきますと、どうしても明確に記載すること、外せないということについては、「障害のある人もない人」、「誰もが」は外さないという方向で進めていくということで委員の皆さんよろしいでしょうか。

飯山委員/すごく悩んでいたのですが、絶対というわけではないのですが、私はこの18頁の基本目標は、「誰もが」が良いと思います。「障害のある人もない人も」と「誰もが」について、皆さんが言われた「外すべきではない」と言われることもわかりますし、私自身も普段は、現実にもものすごく差別があり、すごくうるさく騒ぐ方ではあります。だけど、ずっと読んでみると、最初の「計画の概要」というところで「障害のあるなしにかかわらず」とそこはきちっと概要について書いてあります。これは、横浜市の障害者プランなので、障害のある方達のための計画なので、目標としては、綺麗事といわれるかもしれませんが、障害という言葉で分けてしまうのではなく、今ははっきりとした障害という認定をされ



ないまでも、いろいろな生きづらさを感じている方も含めて、「誰もが人格と個性を尊重しあいながら」と基本目標にし、理想を自指しても良いのではないのでしょうか。中を読んでいけば「障害のある人もない人も」があちこちに出てきているので、委員会の総意ですという形で戻しましょうとなると、戻っても良いのですが、個人の意見として、私は、「障害のある人もない人も」をここに入れなくても良いと思っている人間がいるということで意見を言わせてもらいます。

渡部会長/そのような意見があるということは議事録等に残していくということで、先程、確認させていただきました様に、どうしても外さないということで「障害のある人もない人も」というところについては、明記する方向でとなりましたが、入れた形で進めていくということでよろしければ、進めさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

いちどうさんどう  
(一同賛同)

それでは、もうひとつありました、40ページの書きぶりについて、広げれば非常に広がるし、どのあたりまでかということだと思いますが、このことについて追加のご発言はありますでしょうか。

永田委員/本人が必要な地域情報を得ることができる環境づくり、本人を理解してくれ、何が難しいのか分かりづらいついかなのかわかってくれる人、一緒に考えて教えてくれる、寄り添ってくれる人が必要だと思います。理解をしてくれる人ができるためには、障害のある人達の交流が必要、またどういった生きづらさを感じているのか、伝えることも大切だと思います。

渡部会長/確認ですが、今のご発言は、40頁のところの、「そして～」から文章が続いていますが、その中に加えていくべき内容ということとして承ってよろしいでしょうか。そのような取り組み方が必要ということですね。

永田委員/はい、そうです。

大橋委員/浜視協の大橋です。ひとつこと。この「結婚、恋愛～」は、この辺だけ急に具体的な話が出てきて、私は音声で聞いていたのですが、特に違和感を

感じました。委員の先生からもご指摘がありましたが、ここはもう少しほかかすという意味ではないが、カテゴリーを広げた方が良いのではないかと思います。権利条約でいう女性の複合差別を書いたのかと思うとそこまでではないし、少し中途半端なので検討が必要だと思います。

和田委員/精神障害の和田でございます。「恋愛」「結婚」は、私に向かって言えと言ったのかと思います。「恋愛」「結婚」は、突如出てきてよくわからないと言われましたが…。

渡部会長/今までの議論がありましたが、改めて和田委員からの意見ということでよろしいですか。

和田委員/はい。精神障害の女の人が妊娠した場合、産婦人科で、「産婦人科と精神科の両方がある大病院に行った方が良い」と言われます。私は14年前に「あなたは精神障害者なので産めない」と言われました。今は良くなっているかと言うと、知り合いの女性の話を聞くと、以前より悪くなっていて、お母さんが産後の入院をしている間に児童相談所の人子どもを勝手に奪い取って連れて行ってしまい、乳児院に入れることに賛成しないと子どもをどこに連れて行ったか言わないと言われたそうです。そういう世界であってほしくないと思っていて、たとえ障害者であっても子どもを産み育てることは良いことだと思います。今、14歳になる娘を育てていて、本当に良かったと思っています。当時は、家族からも誰からも産んだら良いと言われなかったの、それを感じます。

金井委員/「暮らし」のところの話で、遡りますが、36頁の生活の場面、行きたいところの移動手段を加えたというところがありましたが、「住む」とか「暮らす」等で移動手段だけを加えただけでよいのか。今の「恋愛」「結婚」の話もその人が暮らしていくことにもなるので、移動手段だけでは足りない。逆にこれは入れない方が良いのではという印象を受けました。

鈴木委員/今、和田委員の発言の内容について、今回の議題にも挙がっている「恋愛・結婚・出産」についても、支援制度が少ない、理解がないというところ、地域に理解がない、そこをどうやって、今の和田委員の声は市民の多くに届いていないので、市民の一人ひとりに届いて、障害のあるないにかかわらず、知っても

らうということ、いろいろな当事者が経験された声を皆さんと共有する機会を健康福祉局や関係者、団体の皆様と作って、緩やかに共感する声が広がるようになると良いと思います。

渡部会長/共有する機会の必要性のご提案については、しっかりと承りたいと思います。文言については、今、出された最終的な文言まで決定するのは難しいので、発言の趣旨、ご意見の流れなどを受けまして、改めて書き方について事務局で検討したいと思います。課長、いかがでしょう。

事務局/言葉について、「てにをは」を含めて決めるのは難しいのですが、二宮委員からご提案いただいた「就学」や「就労」の範囲はどうでしょう。「就学」や「就労」の言葉も入れるのなら、「恋愛・結婚・出産・子育て・家族の介護」をもう少しまとめるならよいか等、もう少し皆様のご意見を伺いたいと思います。

渡部会長/今までの議論からすると、全般的に述べていくというよりも、この部分が一番心外だった、こういうことが起こってはなるまいという委員の発言だと思っています。そう考えると「結婚」、「出産」、「子育て」はどうしても不可欠のところだと思っています。広げすぎると焦点がボケるので、入れ込んでいくことが今の議論の方向性だと思いたいますがいかがでしょう。

鈴木委員/今、会長が言われたように、困難を抱えていようがいまいが、いろいろなイベントや生活があるわけで、特に「恋愛」「結婚」「子育て」において障壁が多い。あらゆる生活を考える必要がありますが、特にそこを考えるべきで入れるべきだと良いと思います。

須山委員/浜難聴の須山です。私は人の一生を考えたら、「就学」「就労」も一つのイベントだと思うので、入れた方が良いと思っています。

飯山委員/40頁の「恋愛」「結婚」は特に障壁が大きいと思います。「就職」もイベントですが、就労支援センターがあるなど個別の支援があります。障害のある方が結婚したいとか子どもを産みたいといった時にもものすごく障壁があり、このような方々が結婚、子育てをしたいと言った時に普通にそういうことがあるとなるように言葉を入れて良いと思います。敢えて知っていただくことがとても

大事だと思おいます。また、障害のある方に特化した結婚支援は、制度として聞こえてこない中、暮らしの中に残した方が良くお思いました。

渡部会長/様々なご意見をいただきまして、全体的に、皆様方の考え、方向については、だいたい共通する部分があるお思います。

今までのご議論を事務局で改めて精査して、原案の作成をお願いしたいお思います。今日、駆け足で来ましたので、架け橋についての議論もありますが、大橋委員を含め、関係のところにしっかり説明していただければお思います。

議題の3につきましてはこれで終了させていただきます、何かお気づきの点がありましたら事務局に直接ご連絡ください。

※その他、鈴木委員・永田委員からご意見を紙で頂戴した。

## 2 報告事項

報告事項1 /のカードについて

渡部会長/それでは報告事項に入らせていただく。

障害者手帳のカード化について事務局より説明をお願いしたい。

(事務局より説明/資料3)

渡部会長/これにつきまして、ご質問はありますか。

(質問等発言なし)

以上をもちまして令和2年度第2回横浜市障害者施策推進協議会を終了いたします。長い時間となり時間をオーバーして申し訳ありませんでした。事務局からその他についてお願いします。

	<p>3 その他  事務局/次回の日程について、次回は3月末を予定しております、市庁舎の会議室の確保もありますので、3月26日午後を予定しておりますが、皆様には追ってご予定を伺い開催をご案内させていただきます。年内には市のホームページに資料を含めて公開したいと準備しておりますので、1週間後程度に皆様に本日の会議録の確認をお願いすることになります。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは事務局より以上とさせていただきます。  本日はありがとうございました。</p>
しりょう資料 ・ とつきじこう特記事項	しりょう資料1-1 第3期横浜市障害者プランの進捗報告について しりょう資料1-2 第3期障害者プラン令和2年度取組（一覧）【公表資料】 しりょう資料1-3 第3期障害者プラン令和2年度取組（概要）【公表資料】 しりょう資料2-1 パブコメ結果概要 しりょう資料2-2 パブリックコメント意見一覧 しりょう資料2-3 原案(案)への反映・修正箇所 しりょう資料2-4 原案(案)に反映するパブコメ意見一覧 しりょう資料2-5 原案(案) しりょう資料3 障害者手帳のカード化について つかしりょう追加資料 協議会欠席委員からのご意見